

2024.06.19

オンライン講座

精神医学（各論）_6_物質関連症群_3



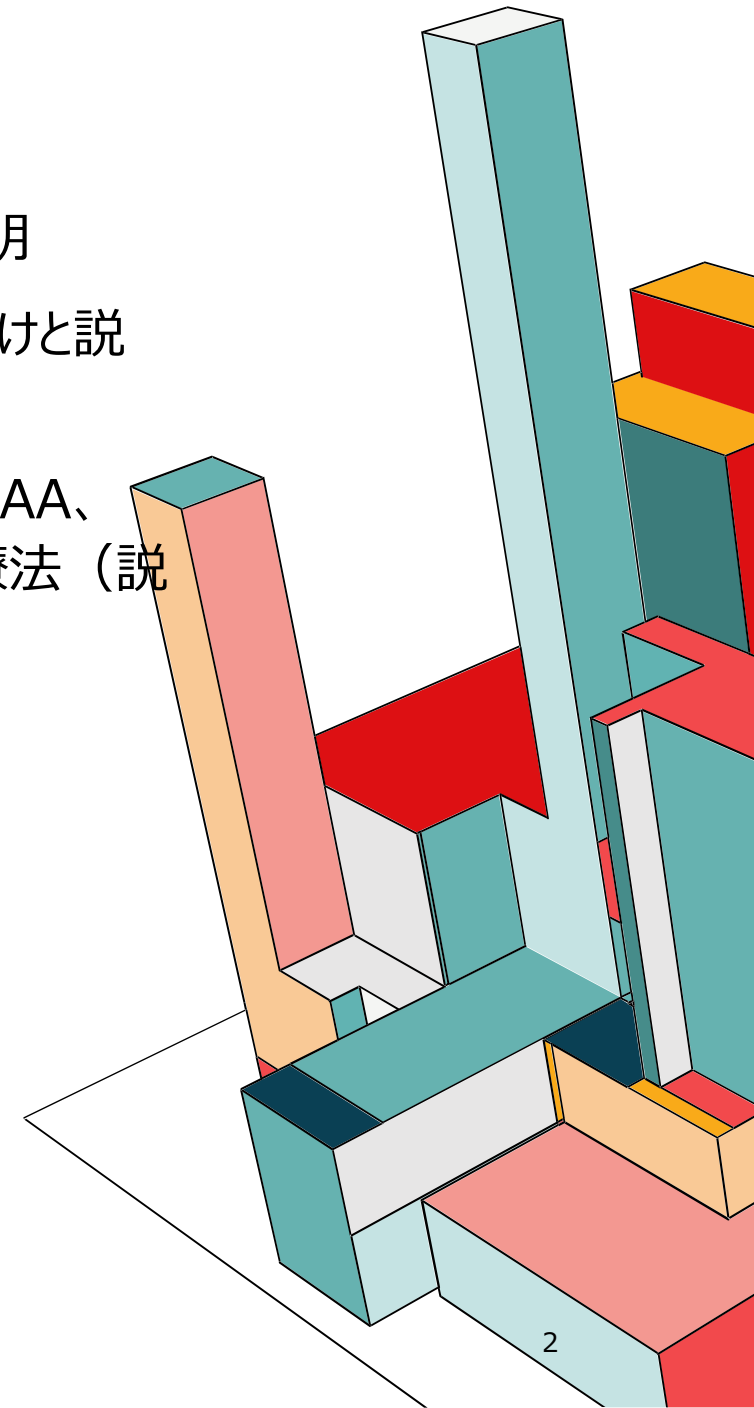
もりさわメンタルクリニック

経過

導入期（本人の同意）：治療の必要性の説明、または受け入れ可能な説明

離脱期（外来治療または入院治療）：身体的治療→精神療法（動機付けと説明）

回復期（外来治療または医療以外）：デイ・ケア、自助グループ（断酒会、AA、DARC等）等への参加、薬物治療（合併する精神症状に対して）、精神療法（説明と支持の繰り返し）



薬物乱用者への対応（治療的方向へのサポートはしても、巻き込まれずに「自助努力」の原則を伝える）

- ・薬物の影響下→安全な距離を取って静かに見守りor 避難
- ・取引しない
- ・周囲の意見を一致させる
- ・感情的に反応せず傾聴する
- ・自助努力とルールを静かに伝える
- ・本人のできているところは認め、治療的方向には賞賛と協力
- ・どこまで家庭で様子を見るか→早期に医療者・保健所・自助グループに相談
- ・治癒ではなく、回復の途中という認識

